

2019

5月10日

金曜日

建設新聞

仙台初・和風ドリーミーインプレミアム

「御宿野乃仙台」が着工

施工＝共立建設・橋本店JV

ホクエツ

ホクエツ（仙台市 細井 一郎代表取締役社長）が仙台市青葉区本町に計画している和風ドリーミーインプレミアムホテル「御宿 野

乃仙台」（仮称）が着工を迎え、9日に現地で安全祈願祭が行われた。仙台で初の高価格帯ブランド・和風テイストのホテルとなり、

共立メンテナンスが運営する。CM業務をNTT都市開発ビルサービス、設計監修を共立エステート、設計監理を現代総合設計（東京



長谷川社長（左）と金子社長



花田取締役



越川営業本部長（左）と佐々木社長

都千代田区）が担当し、共立建設・橋本店JVが施工する。

計画では、広瀬通り沿いとなる仙台市青葉区本町2の2の2地内の敷地面積639・57平方メートルに、RC造14階建て、延べ4353・41平方メートルのホテルを建設。2と13階に125室の客室を設け、14階を温泉大浴場とする。2021年夏の開業を目指す。

神事では、NTT都市開発ビルサービスの長谷川和弘代表取締役社長と共立エステートの金子功代表取締役

役が鎌入れ、ホクエツの花田真也取締役執行役員が鎌（くわ）入れ、共立建設の越川明取締役営業本部長と橋本店の佐々木宏明代表取締役社長が勲（すき）入れを行い安全を祈った。

ドリーミーインの「御宿野乃」は、都市部で日本文化の良さを体感できる和風テイストのプレミアムブランドとして全国で展開している。鳥取、大阪、富山、奈良に続き、東北へは初進出となる。

ホクエツの花田取締役に よると、当初はオフィスビ

ルの建築を目的として16年10月に用地を取得したが、訪日外国人観光客の増加に対応して国土交通省がホテル用地の容積率緩和方針を打ち出したことから、ホテル新築の計画にシフト。同社の子会社であるこしじ販売（新潟県十日町市）が全国のドリーミーインに米を納入していることなどが縁でこの計画が実現したという。神事後のあいさつで花田取締役は「インバウンドを呼び込む一翼を担うことで仙台の発展に貢献したい」と話していた。



道路側溝などコンクリート二次製品を製造販売するホクエツ（仙台市、細井佐一郎代表取締役社長）は、仙台市内に建設する「御宿野乃仙台（仮称）新築工事」に着手した。共立建設・橋本店JVの施工で9日、安全祈願祭が開催された。関係者25人が工事の安全と無事完成を祈願した。

新築場所は、青葉区本町2-12-2。広瀬通り沿いの敷

ホクエツ



ホクエツの花田取締役

地約689㎡。共立メンテナンスが運営するドミインホテルで、東北初の和風プレミアムブランドホテルとなる。客室全125室とエントランスを豊にした。規模はRC造

14階建て延べ約4453㎡。工期は約16カ月、来年夏のオープンを目指す。

同社は、資産運用の一環で2016年10月に建設用地を取得。農業用水路の製造・販売を通じて設立した子会社の米屋「こしじ販売」がドミインホテルと取引があった縁で、ホテルを建設する。運営する共立メンテナンスは土地と建物を借用する。当初はオフィスビルを計画していた。

祈願祭には、施主の同社取締役執行役員の花田真也氏のほか、ホテル運営の共立メンテナンス、CM業務担当のNTT都市開発ビルサービス、現代総合設計の代表者らと、施工者の共立建設の越川明取締役営業本部長、橋本店の佐々木宏明代表取締役社長が出席した。

① 録入れをしたNTT都市開発ビルサービスの長谷川和弘社長（左）と共立エステートの金子功社長
② 録入れする花田取締役 ③ 録入れする越川本部長（左）と佐々木社長



和風ホテル「御宿野乃仙台」新築工事

インバウンド需要に貢献

花田取締役は「国のホテル用地の容積率緩和やインバウンド拡大という時代に、仙台でインバウンドを呼び込む一翼を担いたいという思いでホテルを建設することにした。無事着工を迎えることができ感謝したい」と話した。ドミインホテル御宿野乃は、仙台で5棟目。

共立建設・橋本店で着工